



鎮守の森だより

NPO法人社叢学会ニュース

第118号

2022年7月11日

令和4年度年次総会を秩父神社で開催

3年ぶりの対面フル開催に盛り上がった2日間

藺田稔理事長が退任、後任に櫻井治男副理事長

令和4年度総会並びに研究発表、シンポジウムを、6月11日(土)に秩父神社(秩父市)で開催した。12日には見学会も開催、3年ぶりの対面でのフル開催に、それぞれ40人を超える会員が出席、無事、全ての日程を支障なく終えることができた。

総会では藺田稔理事長の開会挨拶の後、武田義明理事を議長に選出。正会員総数204名のうち、委任状を含む118名の出席を得て、令和3年度事業報告・収支決算、令和4年度事業計画・収支予算について審議承認した。続く第5号議案(理事の重任、新任、退任の件)では、別記(2面)の通り承認した。なお、理事長については、定款で理事の互選と定められているため、総会終了後、第68回理事会を開催し、櫻井治男理事を理事長に選任した。同時に藺田稔氏を名誉顧問に、糸谷正俊氏、渡辺弘之氏を顧問に推薦し、櫻井新理事長が各々委嘱する

こととした。

引き続き行われた研究発表では、渡辺弘之副理事長、濱野周泰副理事長、岡村穰理事、長谷川泰洋理事が、それぞれの研究成果を発表した。

昼食後には、大澤太郎・埼玉県森づくり課副課長の説明と案内で柞の森を拝観した。

その後のシンポジウムでは、藺田稔理事長が基調講演の後、パネルディスカッション。社叢がコミュニティ生成に果たしてきた役割と今後の可能性について、多彩な視点からの発表に活発な議論が展開された。

熱い議論の後の懇親会では、秩父郷土会による屋台囃子が披露され、秩父の銘酒「柞の森」や世界的にも評価を高めている秩父市で熟成されたウィスキー「イチローズモルト」などを味わいながらの久しぶりの交流に花を添えた。

三代目の理事長を拝命して

NPO法人社叢学会 理事長 櫻井 治男

本会が設立されてから今年で20年を迎えます。平成14(2002)年に賀茂御祖(下鴨)神社で設立総会が行われ、NPO法人の認証を受けて以来、理事長として会の基礎を固め社叢学の周知に努められた故上田正昭先生、その後を承けて平成26年に理事長に就任され、会の発展と多彩な活動に力を注いでこられた藺田稔先生から、先般の秩父大会で思いがけずバトンを渡されました。コロナ禍が続く、顔を突き合わせる勉強会や密となって社叢を巡ることができず悶々とした岩戸の扉が少し開け、2年ぶりに対面総会が秩父神社「柞乃社」で再開された時のことで、バトン落としをささないかといまだ緊張感が解けません。

本会は、設立趣意書に鎮守の森を始めとする社寺林・塚の木立・ウタキなどについて人間との相互の関わりの方を、関連諸学の垣根を取り払い、調査研

究を進め、地域に密着した新しい学問の創造と社叢の保存・開発を目指しています。このことが日本人に「自然を基軸とする日本文化にたいする深い自覚をうながし、大きな自信を与え」、社叢への関心を高め、その破壊を止めとともに「地球環境の悪化に悩む世界の国々に・・・日本文明の発信のひとつとしての環境学的指針」を示すとされています。

この高らかに謳われた会の出発点を忘れることなく、会員の皆様のご指導とご協力に支えられながら微力を尽したいと思っております。20といえば人生の通過点年齢でもあります。日本の社叢を代表する伊勢の神宮では、20年に一度の遷宮を繰り返すことで「常若」の命を保っているとされます。本会の常若を願ってご支援をよろしくお願いいたします。

第1号議案

令和3年度事業報告書
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
通常総会の開催	総会審議	5月 29日	社叢学会事務局
理事会の開催 (3回) 第64回 第65回 第66回	令和2年度総会開催 等 令和4年度総会開催について、来期役員態勢について等 令和4年度総会運営 等	5月29日 10月20日 3月11日	社叢学会事務局 社叢学会事務局 社叢学会事務局
定例研究会の開催 関西 関東 中部 第41回	伊良湖地域の神社と社叢	3月 13日	中山・神明社
社叢保存活動	社叢見守り隊事業		
会員証発行	会員約350名分	通年	会員へ郵送
会報発行(6回)	「鎮守の森だより」(A4判・4～6ページ)	奇数月初旬	会員へ郵送
会誌発行	『社叢学研究』(A4判・88ページ)	3月初旬	会員へ郵送
社叢インストラクター養成事業 資格更新の認定	資格更新を承認	3月	本部事務局
ホームページおよびSNSの運営	会員並びに一般市民に対するPR	通年	インターネット
広報・啓発活動	『神社新報』への連載原稿提供	21年11月22日 ～22年10月	『神社新報』紙面

第2号議案

令和3年度事業会計収支決算
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

科 目	金 額		科 目	金 額	
I 収入の部			II 支出の部		
1 会費収入			1 事業費		
正会員会費	1,068,330		総会関係費	15,915	
市民会員会費	148,000		定例研究会費	10,000	
賛助会員会費	1,450,000		会報「鎮守の森だより」関係費	283,696	
協力会員会費	580,000	3,246,330	会誌『社叢学研究』関係費	389,000	
			社叢インストラクター養成事業費	0	
2 事業収入			社叢管理事業	0	698,611
社叢インストラクター養成事業	15,000				
書籍販売	5,400		2 管理費		
総会関連事業	0	20,400	雑給	1,200,000	
			旅費交通費	96,000	
3 雑収入			通信費	123,304	
受取利息	12		地代家賃	924,000	
その他寄付金	250,000	250,012	租税公課	0	
			事務用品費	32,535	
			支払手数料	58,023	
			水道光熱費	6,311	
			雑費	0	2,440,173
当期収入合計(A)		3,516,742	当期支出合計(B)		3,138,784
当期収支差額(A)-(B)					377,958
前期繰越支出差額(C)					485,038
次期繰越収支差額(A)-(B)+(C)					862,996

第5号議案 理事の退任、新任、重任の件

理事の退任 藺田稔 糸谷正俊 渡辺弘之 名波哲 味酒安則 理事の新任 伊藤和男 新西靖斉 深町加津枝
上記以外の理事は重任とする。なお、理事長は定款に理事の互選と定められており、後日、理事会を招集し、決定する。

その他 会誌編集委員会について 神社新報連載の書籍化について 社叢インストラクター資格更新について

第3号議案

令和4年度事業計画書
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

事業名	事業内容実施	予定日等	実施予定場所等
通常総会の開催 関連事業の実施 関連事業の実施	シンポジウム・研究発表 三峯神社等参拝と武甲山見学等	6月11日 6月11日 6月12日	秩父神社 秩父神社 三峯神社等
理事会の開催		3回程度	本部事務局等
定例研究会の開催 関西定例研究会 関東定例研究会 中部定例研究会 福岡県定例研究会	会員相互の研鑽、市民への啓発 会員相互の研鑽、市民への啓発 会員相互の研鑽、市民への啓発 会員相互の研鑽、市民への啓発	9月・11月・23年3月 7月・10月・23年3月 1回程度 10月26日～28日	伏見稲荷大社 他 國學院大学 他 中部地方の社叢等 宗像大社
社叢保存活動	社叢見守り隊事業	通年	全国
会員証発行	令和4年度会員証約400名分	5月～	会員へ郵送
会報発行(6回)	「鎮守の森だより」情報と研究会報告	奇数月初旬	会員へ郵送
会誌発行	『社叢学研究』研究論文と情報	2023年3月	会員へ郵送
社叢インストラクター 養成事業	社叢インストラクター養成セミナー等の開催 社叢インストラクター資格検定試験の実施 社叢インストラクタークラブの運営	7～11月 2023年2～3月	
ホームページおよびSNSの運営	会員並びに一般市民に対するPR	通年	インターネット
広報・啓発活動	『神社新報』への連載原稿提供	21年11月22日～22年10月	『神社新報』紙面
	上記連載の書籍化	令和4年度中	

第4号議案

令和2年度収支予算書
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

科 目	金 額		科 目	金 額	
I 収入の部			II 支出の部		
1 会費収入			1 事業費		
正会員会費	1,080,000		総会関係費	700,000	
市民会員会費	148,000		定例研究会費	150,000	
賛助会員会費	1,450,000		「鎮守の森だより」関係費	360,000	
協力会員会費	580,000	3,258,000	『社叢学研究』関係費	400,000	
			社叢インストラクター養成事業費	30,000	
			社叢管理事業	3,000	1,643,000
2 事業収入	35,000		2 管理費		
社叢インストラクター養成事業	35,000		雑給	1,200,000	
資格検定料・認定料	15,000		旅費交通費	100,000	
養成セミナー等参加料	20,000		通信費	130,000	
書籍販売	20,000		地代家賃	924,000	
総会関連事業参加費等	600,000	655,000	租税公課	3,000	
			事務用品費	70,000	
3 雑収入	230,000		支払手数料	60,000	
寄付金等	10	230,010	水道光熱費	7,000	
利息			理事会関係費	5,000	2,499,000
			3 予備費	0	0
当期収入合計(A)		4,143,010	当期支出合計(B)		4,142,000
当期収支出差額(A) - (B)					1,010
前期繰越支出差額(C)					836,468
次期繰越収支差額(A) - (B) + (C)					837,478

会誌『社叢学研究』編集委員会を再編

会誌『社叢学研究』は、予てより片岡智子理事が編集を担当してきたが、この度、発刊当初に設置された編集委員会を再編し、岡村穰理事(委員長)、賀来宏和理事、原正利理事の3人体制を進めていくこととなった。

今後は、年に5回程度の編集委員会で編集を進めていくが、まずは日本学術会議協力学術研究団体誌として、研究発表の場としての高い水準を保つと同時に、当学会が実施している学際的な社叢研究や維持・保存活動の記録を残すことによって、健全な社叢の保全に必要な情報を提供するほか、会員各位の活動報告や社叢訪問記など、広く投稿の場として公開し、社叢の諸相を伝えることを目指していく。

事務局から

● 3年越しにようやく開催することができました秩父での大会は、やっとお互いの表情を確かめながらの意見交換ができたという熱気に溢れたものとなりました。

また、1面に書くことができませんでした。見学会も充実したものとなりました。なかなか聞くことができないエゾハルゼミの鳴き声の歓迎を受けた三峯神社では、そここの狛犬ならぬ狛狼を拝観した他、特別に博物館を見学させていただき、絶滅したニホンオオカミの毛皮を実見いたしました。また秩父今宮神社では茅の輪をぐるぐる回って厄除けをしたり、大ケヤキの威容に感動したり、さらに秩父神社御旅所の亀の子石を近しく拝観したりと、秩父の魅力を満喫した1日となりました。

● 下記の通り、『社叢学研究』21号への投稿を募集しています。研究者の業績評価にもつながりますので、ぜひご投稿ください。論文には至らない準備段階の研究ノートや、短報、身近な活

動、社叢の訪問記(紀行文)もお待ちしています。ぜひ、ご投稿下さい。

学術論文としての体裁を整えるための書き方や、引用文献、参考文献の扱い、記載の仕方については社叢学会のホームページに公開しています(<http://www.shasou.org/journal/format.pdf>)。お目通し下さい。

● 令和4年度(2022年4月～2023年3月)の会費を頂いた方には順次、会員証をお送りしています。お手元に届いていない場合は、お手数ですが事務局までお知らせください。

編集後記

え～～らい遅なってしもた！ 総会が終わり、ほっと一息なわけではなく、後処理やら、ためていた通常業務やら、役所への事業報告やら。に加えて危険な暑さにやる気も薄れ。。。あ、会報！と気付いた時は既に30日。あちゃ！

で、久しぶりの総会。平時(?)の仕事の後回しにして準備に集中したはずが！ 様々な所に間違いの多いこと！ どしたん？ これは、久しぶりで手順を忘れたというよりも、トシですな、トシ。かれ～による衰えに違いない。とゆーて、間違いがある(多い?)のは昔からっしょといわれれば、それはそれでそうなのだけれど。。。

理事長も交代だし、事務局長も交代してくれえ！ と心の中だけではなく、大声で叫んでも、みんなして聞こえましょ～～ん振りをするし。

と言いつつ、三峯神社の狛犬ならぬ狛狼。何だかかわゆいのやらちよっと恐ろしげなのやら、面白かったなあ。に比べて、秩父神社御旅所の亀の子石の顔の怖いこと！ ガメラもかくやと思わせる面構え。狼が逃げ出すやん。味噌ポテトも、わらじカツもお蕎麦も美味しかったしなあ。へへ、ウイスキーも味見したった。はあい、いっちゃん楽しんだのは、他ならぬワタシですっ！！ (藤岡 郁)

掲 示 板

『原稿募集!』

『社叢学研究』第21号への投稿：論文、研究ノート、短報、資料紹介や調査報告(各400字詰原稿用紙40枚以内)と「鎮守の森の活動報告(祭、音楽会、調査、ワークショップなどの実施報告、抱える問題点など)」「社叢訪問記」(各1,200字程度)を募集いたします。締め切りは、論文等10月31日(月) 活動報告等12月23日(金) いずれも必着。

* 書評欄では会員の皆さまの著作を取り上げています。出版された方は、ぜひご献本下さい。

東日本大震災社叢復興支援事業報告書 8年間の全てを記録 頒価 3千円

発行人 社叢学会事務局 〒604-8115京都市中京区雁金町373番地みよいビル303号
TEL・FAX 075-212-2973
URL <http://www.shasou.org> E-Mail shasou@ams.odn.ne.jp
facebook <https://www.facebook.com/shasou>
社叢学会関東支部 〒368-0041 秩父市番場町1-1 秩父神社社務所内
TEL080-1514-5032 E-Mail shasougakkai@hotmail.com